インシデント・アクシデント報告書

学生用

神奈川県立衛生看護専門学校

年　　月　　日記

学科：助・一・二　　学生氏名：

日時	年　　月　　日（　　）　　時　　分　（実習　　日目）
実習名	
施設名・場所	
内容： □発生 □発見	

＊患者影響レベル（０～３ａまでがヒヤリハット）☆あてはまるレベルに○をつける

影響レベル		内　　容	傷害の程　度
	レベル０	誤った行為が発生したが、患者には実施されなかった場合（仮に実施されたとすれば、何らかの被害が予想された）	なし
	レベル１	誤った行為を患者に実施したが、結果として患者に影響を及ぼすに至らなかった場合	なし
	レベル２	行った行為により、患者に影響を与えた、又は何らかの影響を与えた可能性がある場合	なし
	レベル３ａ	行った行為により、本来必要でなかった簡単な治療や処置（消毒、湿布、鎮痛剤投与などの軽微なもの）が必要となった場合	軽度
	レベル３ｂ	行った行為により、本来必要でなかった治療や処置が必要となった場合	中・高度
	レベル４	行った行為により、生活に影響する重大な永続的障害が発生した可能性がある場合	高度
	レベル５	行った行為が死因となった場合	死亡
	不　明		
	保　留		

＊事実：

発生の経緯 ＊出来事（事実）の流れを時系列に整理して記載	

＊要因分析：

発生要因	＜学生側の要因＞ □確認　□観察　□判断　□知識　□技術（手法）　□身体的状況 □心理的状況　□その他（　　）
	＜物理的環境要因＞ □患者（年齢・麻痺・認知症等）　□姓名の類似　□記録等の記載　□システム □連携　□ベッド周囲の環境　□必要物品数の不足　□タイムプレッシャー □その他（　　）
	＜指導環境要因＞ □指導体制　□指導内容　□臨床との調整 □その他（　　）
	＜その他＞ □その他
気づいたことカンファレンスや指導で	
防止策・対策	